

Eyriès. Jean Baptiste Benoit. Costumes mœurs et usages de tous les peuples suite des gravures coloriées, avec leurs explications (ou un texte explicatif). Paris, Gide Fils, (1815) 1821. 2 v. in 1, 96 plates (copper. hand-col.) 26.2 × 17.1cm 383.1-E (文献番号1-2)
Hiler p.300 Colas 1011

全編を通じ、風俗を表わした手彩色銅版画一葉につき1、2頁の解説が付され、一国につき24枚の版画が集められている。アクアティント版によるみごとな着彩を施した民族服の書である。著者名の末尾がHilerではBenoitであるが、ColasではBenjaminである。本書はそれぞれイギリス、オーストリア、ロシア、トルコ、中国の国別の5分冊から成る1巻本である。1815年の初版18枚ずつの図版を含む2巻本となっており、当時の全図版には原画のシャスラ(Chasselat)と彫版のクエ(Couët)の署名があった。また、同じエリエスの次の5分冊は本書のシリーズとみられる。

L'Angleterre, ou costumes, mœurs, et usages des Anglais. Paris, Gide fils, ca1821.

L'Autriche ou costumes, mœurs et usages des Autrichiens. Paris, Gide fils, ca1821.

La Chine ou costumes, mœurs et usages des Chinois. Paris, Gide fils, ca1822.

La Russie, ou costumes, mœurs et usages des Russes. Paris, Gide fils, ca1823.

La Jurquie, ou costumes, mœurs et usages des Jurcs. Paris, Gide fils, ca1827.

以上は Hiler p.300, Colas 1013~1018に記載がある。

いずれも各々24枚の図版が含まれている点、また目録ではこのうちオーストリア、ロシア、トルコ、中国の図版の典拠となった文献を挙げているが、独立したオーストリア、ロシア、中国のものは本館にも所蔵されている。それは以下の通りである。

Serres, Marcal de; L'Autriche, ou mœurs, usages et costumes des habitants de cet empire. Paris, 1821 (文献番号4-81)

Alexander, William; The costume of the Russian Empire. London, 1804 (文献番号5-5)

Mason, G.H; The Costume of China. London, 1800 (文献番号10-71)

これらの3点と本書の図版とを比較してみると、描かれた人物のポーズや背景は上記の3点が簡素なのに対し、本書はより複雑である。図版の大きさにも差があるが、衣服の型、色共にAlexander版に準拠していることは明らかである。こうした点から、おそらく本書は元来、各章ごとに個別に出版された5冊を後に1冊として合冊したものであろう。

登場するのは国ごとに多少の差はあるが、貴族はまれで、ブルジョワから下層階級までの庶民の姿である。都会の物売りや職人、兵士、地方の晴着姿や日常服の農民たちが中心で、中国ではちょうちん売り、床屋、かご屋など、また拷問や刑罰の場面も見られる。

解説は版画に表わされた衣服だけでなく、その身分、職業の人々の仕事振りからその商品の質、取扱い方から日常の習慣にまでおよび、著者の広い見聞が披歴されている。

著者エリエスにはこの他に60枚のカラー・プレートを含む『スイスの民族服』*La Suisse, ou costumes, mœurs et usages des Suisses*. Paris, 1825 (文献番号4-67) もある。



イギリス、ヘースティングの漁師